

## トキメキとドヨメキが多かったから

第 10 期 OB 石井隆太

NHK の人気番組「チョコちゃんに叱られる！」によると、子供の頃より大人になってからのほうが、月日の流れを短く感じるのは、トキメキが無くなるからだそうです。つまり、大人になるにつれ、新しい問題に直面したり、新しい経験をしたりすることが少なくなり、心が動かなくなると、日々の生活を単調なものに感じて、あつという間だったなと感じるそうです。これを踏まえると、逆に、私がこの 1 年間で長かったと感じるのは、心動くトキメキの多い 1 年間だったからということでしょう。そんなトキメキの多い 1 年間で振り返ってみたいと思います。

### ◆就職しました！

4 月から、晴れて社会人になりました。勤務地は、北陸は福井県・永平寺町にあります、福井県立大学です。非常にホワイトな職場で、温かい同僚の先生方に恵まれて、楽しく仕事をさせて頂いております。大学教員の典型的な仕事と言えば、90 分間の講義でし



1,200 台分の駐車場を完備する広大な永平寺キャンパス

う。これについては反省点が多い中で、良かった点を挙げるとすれば、Kahoot! というツールを導入したことです。これは、クイズやアンケートを行うためのアプリで、その結果がリアルタイムで画面に映し出されるという点に特長があります。受講者数が 100 名を超える授業では、受講者とインタラクションを取ることがなかなか難しいため、Kahoot! を使って授業内クイズを行い、受講者の理解度をチェックしつつ、理解不足な点を重点的に解説するようにしております。受講者側にとって良いのは、Kahoot! を通して、授業に参加している気になれることと、何よりも、少しは楽しく授業に取り組めるようになることだと思います。クイズを行うと、毎回、教室がそこそこ沸き立つぐらい盛り上がっているのを見て、ゲーム性は重要だなと感じます。実は、Kahoot! を知ったのは、一昨年 4 月の本ゼミにて、OB・OG 会長の白木さんが行ってくださったご講演でした。その際に、Kahoot! を使ったアンケートを行っていて、一人のオーディエンスとして非常に面白かったと感じ、授業に取り入れてみました。内容はさることながら、仕事に有用なツールもご紹介くださった白木さんに感謝です。若手の新米教員ということで、今後も、何かしら、“今風”の要素を取り入れた教育が出来ればなと思っています。

#### ◆ゼミを開講しました！

就職と同時に、石井ゼミをスタートしました。第1期生は、大学3年生の男性3名です。ゼミ生にとっては先輩がおらず、ベンチマークも無く、手探りで試行錯誤した1年間だったと思います。福井県立大学の経済学部には、通称“ゼミコン”と呼ばれる学内の研究発表会があります。慶応で言うところのマケ論やインゼミに該当し、3年生のグループ研究を発表し合う場です。ただし、慶応とは異なり、学生同士で点数を付け合って、優勝と準優勝を決めます。



ゼミ1期生とゼミコンの表彰式にて

ゼミ生は、この1年間は主に、ゼミコンでの入賞を目標に掲げて、グループ研究に取り組んできました。特に発表前の数週間、熱を入れていたようで、毎回、徹夜明けの顔でゼミにやって来てました…。ゼミコンでは、準優勝をいただけて、結果としては良かったのですが、そこに至るまでのゼミ指導は、なかなか難しいと感じた一年でした。とはいえ、グループワークを通して、ゼミ生の仲がとても深まったようで、その点は何よりかと思います。これから就職活動もありますので、仲間同士で支え合いながら頑張ってもらいたいと思います。

#### ◆海外の先生と研究始めました！

ご存知ない方が多いかと思いますが、我が慶應義塾大学は、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」において、トップ13校の1つに選定されており、多額の支援金を得て、国際化のための精度やプロジェクトを積極的に展開しています。そのうちの1つとして、海外副指導教授制度というものがございます。これは、海外の先生を副指導教授として大学が雇用し、当先生に



小野先生、カドガン先生と田町の居酒屋にて

大学院生の指導を行ってもらうという制度です。私は、この制度を利用して頂き、イギリスはラフバラ大学のジョン・カドガン先生に副指導教授になって頂きました。そして、昨年7月下旬には、カドガン先生に、遠路遙々日本へお越し頂き、2週間の間、みっちり指導をして頂きました。この間、英語でコミュニケーションを取りながら、海外の研究動向や英語論文の書き方を教わり、プチ留学した気分になりました。最終的には、共同研究プロジェクトを立ち上げて別れを告げました。今回の企画は、カドガン先生と2年半前にたまたま国際学会でお会いできて研究内容にコメントをもらえたり、小野先生に海外副指導教授の制度を勧めて頂けたりと、本当に色々な幸運が重なって得ることが出来た機会でした。「国際的に活躍す

る研究者」という目標とは、まだまだかけ離れておりますが、その目標に近づくための大きな一歩にはなったかと思えます。幸運に感謝しながら、目標に向かって精進したいと思います。

#### ◆結婚しました！

最後に、プライベートについてのご報告ですが、福井に引っ越したり就職したりイギリスから先生がいらっしゃったりとドタバタする中、予てより交際させて頂いていた小野ゼミ第7期OGの菊盛真衣さんと結婚いたしました。結婚披露宴には、先生ご家族やゼミOBOGの方々に多数ご列席賜りまして、そして、会場を明るく楽しく盛り上げてくださって、誠にありがとうございました。結婚後は、福井と大阪での別居生活ですが、“長期週末婚”と称して、土日プラスアルファで福井か大阪に集まり、一緒に家事に勤しんだり、ジムに行ったり、旅行に出掛けたり、パソコンを並べて仕事をしたりという生活を楽しく送っております。



樽酒を豪快に開けて驚く様子



夜なべして作成したプロフィールブック笑

さて、こうして振り返ってみると、胸が躍るトキメキ多い1年間だったなと思う一方で、胸が苦しく大変な1年間だったなとも思います。「講義で90分も話ができるだろうか」とか、「英語でコミュニケーション取れるだろうか」とか、「結婚式の準備は間に合うだろうか」とか、そんな不安や心配でドキドキすることも多かった1年間でした。言うなれば、心が響く（どよめく）、ドヨメキの多い1年間だったということです。冒頭、チョコちゃんに言わせれば、月日の流れを長く感じるのは、心のトキメキが多かったからでしょうが、心のドヨメキも同じぐらい多いのが常だと思えます。大学教員と言うと、楽な仕事に見えるかもしれませんが、今年も取り組むべき新しいことが山積みです。心のトキメキやドヨメキを楽しめる1年間にしたいと思います。